

日台交流セミナー

アリガト謝謝

～台湾でどうして

200億円の義援金が集まったか～

本セミナーは、市の台湾交流の現状を知っていただくとともに、今後、産業・観光を始めとした多分野での相互交流を推進するため、台湾に対する理解を深めることを目的に開催します。

東日本大震災から7年。台湾の人々の日本に対する思いを知り、感謝の気持ちをこれからの交流につなげましょう。

《講師プロフィール》

木下 諄一（きのした じゅんいち）氏

小説家。2011年中国語の小説「蒲公英之絮」(印刻文学出版)が外国人としてはじめて第11回台北文学賞を受賞。2017年には311東日本大震災後に台湾の義援金がいかにして集まったかを描いた日本語の小説「アリガト謝謝」(講談社)を出版。その後、東京と被災地を中心に「台湾でどうして200億円の義援金が集まったか」をテーマとした講演も行っている。

その他の著書にエッセイ集「随筆台湾日子」(木馬文化出版)など。現在、台湾最大発行部数の新聞・自由時報にコラム「記憶中の影子」、在台日本人向け雑誌「なるほど台湾」にコラム「心から愛すべき台湾の朋友たち」を連載中。台湾在住約30年。



3/15 (木)

17:30～19:00

●無料

●場所 宮古市役所分庁舎
3階大会議室

主催 宮古市国際交流協会・宮古市

■問い合わせ 宮古市国際交流協会（宮古駅前総合観光案内所内）（電話62-3534）